

寺子屋開く学生団体 安全な活動継続へ コロナ対策を学ぶ

駿河区で研修会

県内のカフェで無料の寺子屋を開き、子どもの学びを支援する学生らによるNPO法人「Cafe de(カフエ・デ)寺子屋」が16日、「新型コロナ対策研修会」を静岡市駿河区の県立大小鹿キャン



子どもの学習を支援する学生団体が感染対策を学んだ研修会＝静岡市駿河区の県立大小鹿キャンパス

パスで開いた。同団体のメンバーや類似の取り組みを行う団体の学生たちが、コロナ禍でも安全に活動を継続するために必要な感染対策について学んだ。同大看護学部

の操華子教授が講師を務め、新型コロナウイルスの感染の仕組みや正しい手洗いの方法などを解説した。事前に学生の活動を視察した操教授は「子どもたちはソーシャルディスタンスを保つことが難しい。不織布のマスクを正しく着用するように呼び掛けて」などとアドバイスした。

同団体育理事長の大石紗矢香さん(23)＝藤枝市＝は「子どもや保護者にも協力をお願いしながら、これまで以上に意識を高めて安心安全に活動したい」と話した。